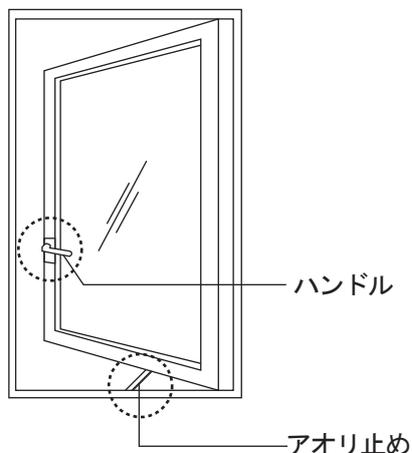


■ たてすべり出し窓の取扱い

本商品のお取り扱いには、本書を良くお読みになり正しくご使用ください。

各部名称



ハンドル



外部ハンドル(非常進入口用)

ガラス障子の開閉

- ① ハンドルを上 90° 回してください。ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押出してください。
- ③ アオリ止め金具が働き、 20° の角度で自動的にガラス障子がストップし、固定されます。
- ④ ガラス障子を閉める時は、アオリ止め金具の(押)のラベル部分を押しながらガラス障子を閉めてください。
- ⑤ ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

■ 窓の幅750mm未満、 83° 開きの時

- ① ハンドルを上 90° 回してください。ロックが解除されます。
- ② ハンドルを持ち、ガラス障子が止まるまで押出すと、 83° の位置まで開くことができます。
- ③ ガラス障子を閉めたら、必ずハンドルを下向きにしてロックしてください。

ガラスに▼マークが付いている窓は非常用進入口（火災時に消防隊が外部から進入できる窓）で、ガラス障子が外から開けるよう外部ハンドルが取り付けられています。

お願い

- ❗ 開閉時ガラス障子が動き出したら、アオリ止めから手を離してください。手を離さずにいると、手や指を挟み、思わぬ事故やけがにつながります。
- ❗ 開閉操作は、ゆっくりおこなってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
- ❗ ガラス障子の開放角度はメンテナンスのため 20° 以上開くようになっていますがロック機構が無いため 20° 以上開放して使用しないでください。強風などによりガラス障子があおられると、急激にガラス障子が動き思わぬ事故やけがにつながります。

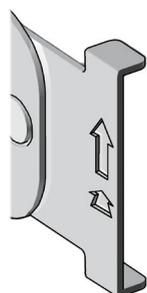
△ 注意

1. 風の強い時は窓を閉めて、必ずハンドルをロックしてください。ロックをしないと、ガラス障子が風であおられ急激な開閉で衝撃を受け、破損、落下等の恐れがあり、思わぬ事故やけがにつながります。

非常用進入口外部ハンドル

非常用進入口外部ハンドルは火災時に、消防隊が外部からガラス障子を開くための部品です。非常用外部ハンドルを操作するとロックが解除され、83°の位置までガラス障子を開くことができますが、一般のユーザー様が取り扱う金具ではないため、非常用外部ハンドルの操作性は誤作動防止のため、ハンドルの操作は固く設計されています。

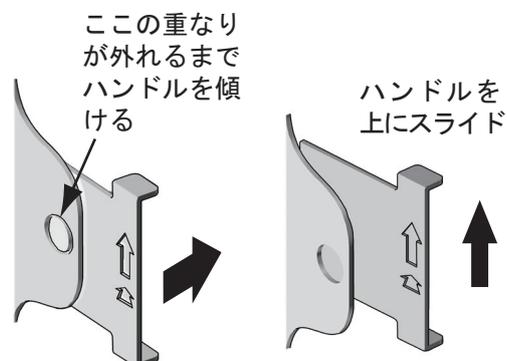
非常用外部ハンドルの破損防止の観点から火災時など、消防隊が外部から進入する時以外に外部ハンドルの操作はしないでください。



外部ハンドル(非常進入口用)

■ロック解除手順

- ① 外部ハンドルをたて枠側に倒しロックを外します。
- ② ハンドルのロックが外れたらハンドルを上スライドさせると窓のロックが解除されます。



お願い

- ❶ 誤って操作してしまった場合は、ロックが解除され、ガラス障子を閉めてもロックされなくなりますので、下記の手順にしたがって必ずもとに戻してください。
ロックがかかっていないと急に窓が開き、思わぬ事故やけがにつながります。

■もとに戻す時

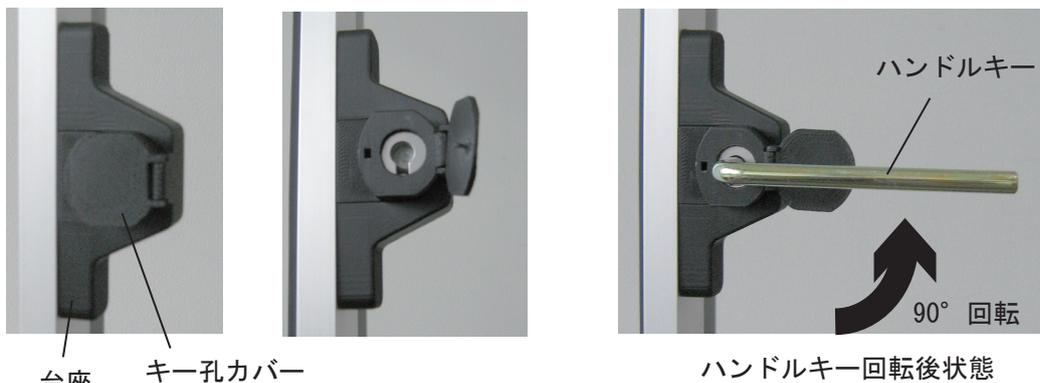
- ① 非常用外部ハンドルを正常の位置(下に下げる)に戻してください。
- ② ハンドルを上90°回して横向きに戻してください。
- ③ ハンドルを持ちガラス障子を閉めてください。
- ④ ハンドルを下向きにしてロックしてください。
- ⑤ ハンドルを下向きにしたまま持って外部に押し出し、ロックの確認をしてください。

オプションハンドル

本商品は標準ハンドルの他に下記のオプションハンドルが用意されています。
オプションハンドル使用方法は下記の通りとなります。

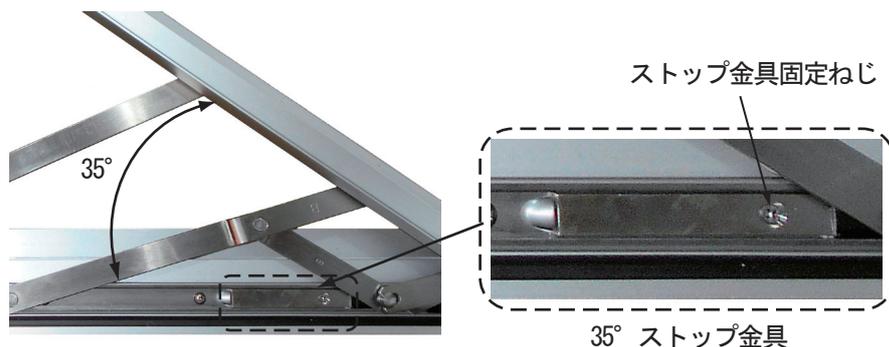
■着脱式ハンドル

ハンドルキーが着脱式になっています。台座のキー孔カバーを開いてハンドルキーを差し込み、標準ハンドル同様上に90°回してください。ロックが解除されます。



アオリ止め35° ストップメンテナンス時の取扱い

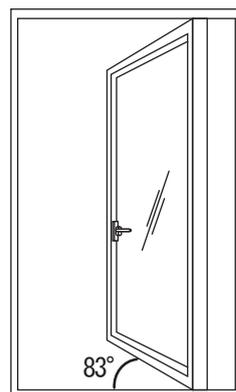
アオリ止め35° ストップ金具は、窓の開放角度を35度で制限するためのものです。窓の清掃やメンテナンス時に、窓の開放角度を制限以上に開放する場合は、下記の手順にしたがって、金具を取り外すことにより窓の開放角度を約83°まで開放することができます。



■ 35° ストップ金具の取り外し手順

金具の取り外しは、下記の手順でおこなってください。

- ① 窓を35°まで開放してください。
- ② ストップ金具固定ねじを取り外します。
- ③ ストップ金具本体をマイナスドライバーなどを使用して持ち上げ、金具を取り外します。
- ④ 窓の開放手順に従い83°まで窓を開放します。



■ 35° ストップ金具の取り付け手順

金具の取り付けは、下記の手順でおこなってください。

- ① 窓を30°程度まで(金具が差し込める程度)窓を閉鎖してください。
- ② ストップ金具本体をアオリ止めにはめ込みます。
- ③ ストップ金具固定ねじを取り付けます。

お願い

- ❗ ストップ金具の取り外し作業時は、窓がロックされません。風などで窓があおられ急激に閉まる場合がありますので、取り外し・取付作業時には補佐員が窓を押さえるなどして、安全配慮をした上で作業してください。
- ❗ メンテナンス完了後はすみやかにストップ金具を取り付けてください。ロックがかかっていないと急に窓が開き思わぬ事故やけがにつながります。

締まりハンドルの定期点検のお願い

締まりハンドルについて、使用頻度により締まりハンドルの固定ねじが緩むことがございますので定期的に締まりハンドルのガタツキ・ぐらつき等がないことを確認してください。

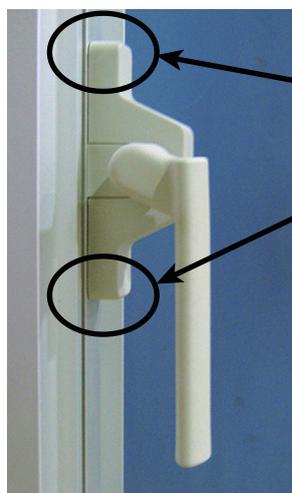
締まりハンドルにガタツキ・ぐらつきがある場合には、下記の手順にて取付ねじの増締めをしてください。

■ 締まりハンドル取付ねじの増締め手順

締まりハンドルの取付ねじの増締めは、下記の手順でおこなってください。

- ① ハンドル台座カバーの取り外し方によりカバーを外す。
- ② ねじを増締めする。
- ③ ハンドルのガタツキ・ぐらつきが無いを確認する。
- ④ ハンドル台座カバーをはめ込む。(しっかりとはめ込まれたか確認する)

● ハンドル台座カバーの取り外し方



ハンドル台座カバーの上下端部が
引っかけられる溝形状になっている

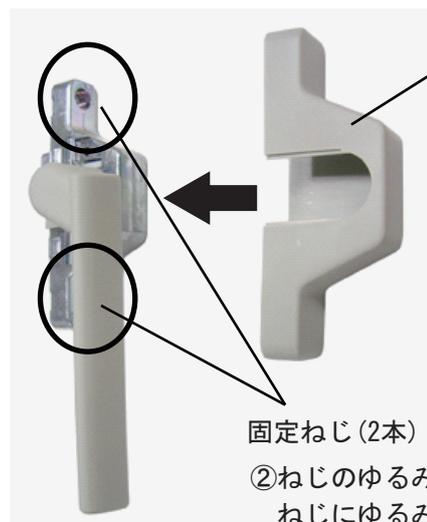


- ①-1 マイナスドライバーなどの先端を溝に引っ掛けてこじるとカバーが手前に浮きます。



- ①-2 カバー上下の溝部分を少しずつこじり上げるとカバーが手前に外れます。

● ハンドル固定ねじの増締め ハンドル台座カバーの取付



- ④調整後台座カバーを元に戻す。

- ②ねじのゆるみを確認して、ねじにゆるみがあれば増締めする。

お願い

上記手順で、締まりハンドルのガタツキ・ぐらつきが直らない場合は、締まりハンドルの破損が考えられますので、お取扱いの建築会社様、工務店様または管理会社様に修理をご依頼ください。